

## 平成29年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（1月22日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	支援機構 奨学金 との重複	対象学年 (注意:平成29年4月時点の学年)	金額	給付・貸与 の別	募集人員 (全国で)	募集要項の ＜請求先＞	申請書類の ＜提出先＞	提出期限
公益財団法人 尚志社	次の①～⑤の条件を満たす者。 ①成績基準 学部生・修士1年:本人の属する学部(科)の上位10%以内 博士1年:大学及び大学院における成績が特に優れていること。 ②年齢基準(平成30年4月2日現在) 学部4年:26歳未満(学部5年は27歳未満) 修士1年(30歳未満) 博士1年(35歳未満) ③奨学生選考委員会による面接を必ず受けることができること。 ④奨学金受給期間中は当財団が定期的に実施する社友懇話会(年1回)に必ず出席すること。また、受給期間終了後もできるだけ参加すること。 ⑤受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)機関誌「尚志」に必ず寄稿すること。	不可 (日本学生 支援機構 の貸与型 奨学金を除 く)	医学部医学、大学院医学系研究科(看護学専攻を除く)に在学する日本人であって、次の学年(受給開始時)の者とする。 学部生 6年生学科の4年又は5年 大学院生 修士課程(博士前期課程)1年 博士課程(博士後期課程)1年	入学金:大学院生のみ 実費(上限30万円) 授業料:学部・大学院共に実費(上限100万円) 書籍及び下宿補助(月額) 4年自宅生 3万円 4年下宿生 4万円 5年・修士自宅生 4万円 5年・修士下宿生 5万円 博士自宅生 5万円 博士下宿生 6万円	給付	全国で36名 (内三重大学での 推薦枠は1名)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月6日 (17時厳守)
公益財団法人シマノ財団 平成30年度奨学生	①学業・人物共に趣趣で経済的理由により修学が困難とみられる学生 ②年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び年2回の状況報告ができる者 ③他奨学金との併給は差支えない。ただし、合計額は10万円を超えない範囲とする ④工学部、理学部在籍の学生 ⑤30歳以下の学生	可 (ただし合 計額が10 万円を超え ない範囲 で)	工学部の2年生及び3年生 (平成30年4月末時点)	月額 2万5千円	給付	記載なし 当校からの 推薦枠は2名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月13日 17時
三重県 (奨学金返還支援制度) ※受付期間延長	以下のすべてに該当する者 1. 申請時に、最終学年の1年前の学年以上の在籍生で、かつ、就職先が決まっていない者 2. 指定地域への定住を希望する者 3. 常勤雇用または個人事業主として就業する予定の者(ただし、公務員は除く。) 4. 日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5. 平成29年3月31日時点で35歳未満の者	可	学部3年生以上 大学院1年生以上	在学中に 借受予定の奨学金 総額の1/4 (上限100万円)	返還支援	20名	大学 (学生支援チーム)	三重県戦略企画部 戦略企画総務課 〒514-8570 津市広明町13番地	7月5日～ 1月31日 (17時必着) ※郵送の場合は 配達証明郵便を 使用すること
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の 進路に指 定のある奨 学金との重 複は不可	医科大学・大学医学部の 学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除 制度あり)	記載なし	<a href="#">津生協病院 ホームページ(リンク)</a>	<a href="#">津生協病院 ホームページ(リンク)</a>	随時
国際ソロプチミストアメリカ 日本中央リジョン	①日本中央リジョン区域限界内(静岡県を含む東海・北陸地域及び近畿地方)に在住し、学業・人材共に優秀で学位取得を目指している女子大学院修士課程生・女子大学院博士課程生。または学費支弁が困難な女子大学生(短期大学を除く) ②他の給付型奨学金を4月から受ける予定のない学生(貸与型奨学金は可) ③国籍は問わない。ただし留学生は私費留学生に限る。 ④過去の選外者の再応募も可(年齢制限なし)	貸与型の み可	大学生 大学院生 (修士課程・博士課程共に)	120万円 (一度のみ)	給付	3名程度	大学 (学生支援チーム ①番窓口)	国際ソロプチミスト三重 事務局	1月31日 (応募書類必着)
山梨県ものづくり人材就業 支援事業費補助金 (奨学金返還補助事業)	申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれに準ずる学部、研究科等(以下「大学等」という。)に在学し、次の各号の全てに該当する学生 (1)独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金(以下「第一種奨学金」という。)の貸与を受けていること。 (2)平成31年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発、製造部門への就職を希望していること。 (3)平成31年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること。 (4)平成30年度に卒業予定であること。	返還支援	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (平成30年度中に大学もしくは 大学院を卒業又は修了予定 の者)	大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額を上限とする	返還支援	35人	大学 (学生支援チーム ①番窓口)	<a href="#">山梨県産業労働部 産業人材育成課 ホームページ(リンク)</a>	10月1日～ 2月28日 ※ただし、毎月末 に選考を行い、支 給対象者が35名に 達したところで募集 は締切ます。
(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 学部生	月額 5万, 8万, 10万 円 月額 4万, 5万, 6万 円	貸与 (無利子)	20名 300名	<a href="#">財)交通遺児育英会(リンク)</a>	(財)交通遺児育英会 提出期限の1週間前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること	10月31日 (1次)8月31日 (2次)1月31日 10月31日

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 平成30年4月13日 (それ以前に 内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)